

屋外タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		① 油槽所				
② 貯蔵する危険物の概要	引火点	40 °C	貯蔵温度	常温 ☺		
③ 基礎、据付方法の概要	20m PC杭6本を打設し、その上に1.5mの鉄筋コンクリート造の基礎を設ける。タンク下部は、アスファルトモルタルを敷設する。					
タンクの構造・設備	形状	④ 縦置円筒型		常圧 加圧 (⑤ kPa)		
	寸法	⑥ 内径 5,000mm 高さ 4,500mm		容量	⑦ 80KL	
	材質、板厚	⑧ 材質SS400 底板9.0mm, 側板6.0mm, 屋根板4.5mm, アニュラ板9.0mm,				
	通気管	種別	数	内径又は作動圧		
		⑨ 無弁通気管	1	100 mm kPa		
	安全装置	種別	数	作動圧		
		⑩ なし		kPa		
液量表示装置	⑪ フロート式		引火防止装置	⑫ 有 ・ 無		
不活性気体の封入設備	⑬ なし		タンクの保温材の概要	⑭ なし		
注入口の位置	⑮ 防油堤東側		注入口付近の接地電極	⑯ 有 ・ 無		
防油堤	構造		容量	排水設備		
	⑰ 鉄筋コンクリート造 (高さ1,000mm 厚さ150mm)		100KL	防油堤内に貯留設備を設け、防油堤外に弁を設ける		
ポンプ設備の概要		⑱ ギヤーポンプ (0.5Mpa, モーター2.2kW) 1基 (耐圧防爆構造)				
避雷設備		⑲ JIS-A4201 : 2003による保護角法 (突針 1本)				
配管		⑳ JIS-G3452 配管用炭素鋼鋼管 さび止め塗装				
消火設備		㉑ 第3種移動式泡消火設備	タンクの加熱設備	㉒ なし		
工事請負者住所氏名		㉓ ○○県○○市○○○丁目○○番○○号 ○○工業㈱ 担当 ○○ ○○ 電話○○○-○○○○-○○○○				

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

※記入方法

- (1) 各欄の該当がない部分は、斜線または「なし」等を記入し、空欄が無いようにしてください。
- (2) 製造所又は一般取扱所の20号タンクの場合は、②から⑰までについて記入してください。
- ① 事業の概要は、貯蔵所が設置されている事業所の事業内容、貯蔵目的等を記入してください。
- ② 貯蔵する危険物の概要は、タンクに貯蔵する危険物の引火点及び貯蔵される危険物の最高温度を記入してください。
- ③ 基礎、据付方法の概要は、タンクを設置する位置の基礎施工方法及びタンク据付方法を記入してください。
- ④ 形状は、縦置円筒型、横置円筒型、角型、楕円型等を記入してください。
- ⑤ 常圧・加圧は、タンクの貯蔵方法を○で囲み、加圧の場合は圧力を記入してください。
- ⑥ 寸法は、次の項目を記入してください。
 - (1) 縦置円筒型は、内径及び側板の底部からトップアングルまでの高さ
 - (2) 横置円筒型は、内径、胴長、鏡出及び全長
 - (3) 角型は、縦、横、高さ
 - (4) 楕円形は、長さ、幅、高さ、最大幅等特徴的な部分の長さ
- ⑦ 容量は空間容積を除いた実容量を記入してください。（危政令第5条第2項参照）
- ⑧ 材質、板厚は、タンクそれぞれの部分の材質及び板厚を記入してください。
- ⑨ 通気管は、タンクに設置される通気管の種別、設置数、内径を記入してください。
- ⑩ 安全装置は、圧力タンクの場合に限り、装置の種別、設置数及び作動圧を記入してください。
- ⑪ 液量表示装置は、タンクに設置された液面計の型式等を記入してください。
- ⑫ 引火防止装置は、有・無のいずれかを○で囲むよう記入してください。
- ⑬ 不活性ガスの封入設備は、装置が設けられる場合にその概要を記入してください。
（例）専用配管を接合し、タンク内圧が○Pa以下となれば窒素ガス封入を行う。
- ⑭ タンク保温材は、タンク外面に保温材がある場合に、保温材の種類及び施工方法を記入してください。（例）ウレタンフォーム吹き付け
- ⑮ 注入口の位置は、タンクに移動タンク貯蔵所等から受け入れる口がある場合に該当する注入口の設置場所及び防油堤の内側か外側かを記入してください。
- ⑯ 注入口付近の接地電極は、有・無のいずれかを○で囲むように記入してください。
- ⑰ 防油堤は、構造、容量及び排水設備を記入してください。
- ⑱ ポンプ設備は、タンク受け払いを行っているポンプの種類、最大吐出圧力、原動機の種類、設置数及び防爆構造の種別や記号を記入してください。
- ⑲ 避雷設備は、J I S A - 4 2 0 1 で示される保護手法（回転球体法、保護角法、メッシュ法）及び受雷部を設置しない場合は、括弧書で他の建築物等の名称及び避雷設備の概要を記入してください。
- ⑳ 配管は、製造所等で使用する配管すべてについて材質、外面保護等を記入します。
また、J I S 記号を記入することもできます。
- ㉑ 消火設備は、貯蔵所に設置される消火設備について、危政令別表第5に規定する区分、設備名、設置数等を記入してください。
（例）第4種消火設備（粉末消火50型）1本、第5種消火設備（粉末消火3.5kg）5本
- ㉒ タンクの加熱設備は、設置された加熱設備の概要、加熱媒体、温度等がわかるように記入してください。
（例）ボイラーによる蒸気を配管により、20号タンクのジャケットに接続し、70度に加熱する。
- ㉓ 工事請負者住所氏名は、工事請負者の住所、氏名（法人は、主たる事業所の所在地、法人名及び担当者名）及び連絡先の電話番号を記入してください。